

業務用

ガスクッキングテーブル焼物器
角型ロストルタイプ（上操作）

製品番号 C T R - 7 1 0

このたびは、業務用ガスクッキングテーブル角型ロストルタイプ（上操作）を、お買い上げ頂きましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに保管しておいてください。

目次

特に注意していただきたいこと	1～4
各部の名称	4～5
仕様	5
設置について	5～7
ご使用方法	7～8
日常の点検・お手入れ	9～10
故障・異常の見分け方と処置方法	11
長期間使用しない場合	11
廃棄するときは	11
アフターサービスについて	12

家庭用には使用しないでください

《ご使用のまえに》または《安全に正しくお使い頂くために》

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な禁止



触手禁止



火気禁止



分解禁止



一般的な注意



高温注意



必ず行う



換気必要

■特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

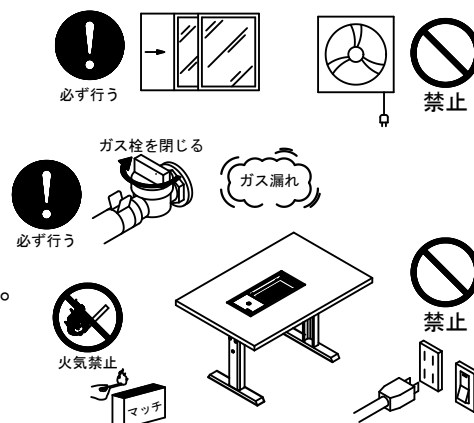
⚠ 危険

■ ガス漏れの処置

ガス漏れに気付いたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ①すぐに使用をやめ、器具栓とガス栓を閉じてください。
- ②窓や戸を開けガスを外へ出してください。
- ③お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡してください。



⚠ 警告

■ 使用ガスについての注意

必ず形式銘板（機器燃焼部に貼付）に表示しているガス（ガスグループ）を使用する。
転居したときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを必ず確認する。

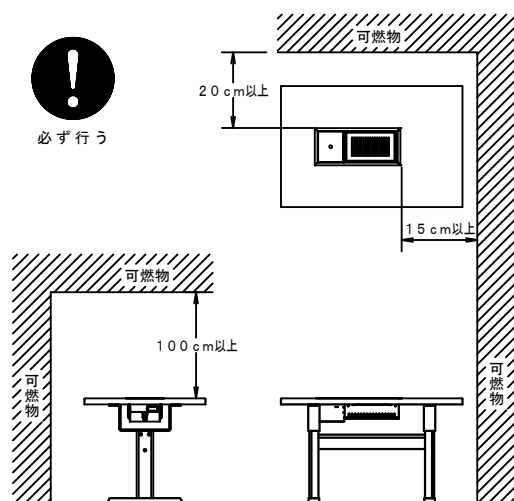
不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。また、故障の原因にもなります。
わからない場合はお買い上げの販売店またはガス事業者に連絡してください。

例：都市ガス12A、13Aの場合

品番：	CTR-710
形式名：	CTR-710
都市ガス12A、13A用	
ガス消費量 12A	2.21kW
13A	2.33kW
00.00-000000	
山田金屋工業株式会社	
業 務 用	

■ 火災予防

設置や移動の際、（家具や壁・棚など）可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。

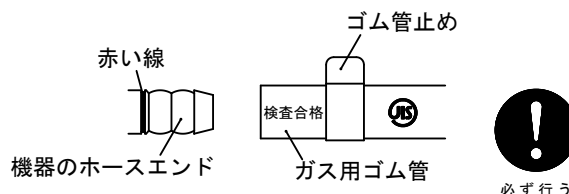


■ ガス事故防止

ゴム管は、ガス用ゴム管（検査合格又はJISマークの入っているもの）を使用する。



ゴム管は、赤線まで差し込んでゴム管止めでしっかりと止める。



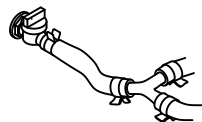
ゴム管が抜けたり抜けかけたりすると、ガス中毒やガス爆発の原因になります。

■特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 警告

■ ガス事故防止

ゴム管の継ぎたしや二又分岐はしない。



禁止

ガス漏れの原因となります。

■ ガス事故防止

ゴム管はときどき点検して取り替える。

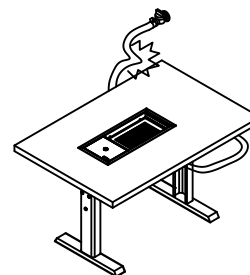


禁止

ゴム管は古くなるとひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因となりますのでときどき点検して取り替えてください。

■ ガス事故防止

ゴム管はガス用ゴム管を用い、高温部に触れたり、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短くして使用する。また、ガス用ゴム管は機器の下を通したりしないようにして使用する。また、他の機器で加熱されるような所にも通さない。



禁止

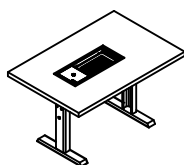
使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れの原因となります。

■ 火災予防

火をつけたまま離れない。



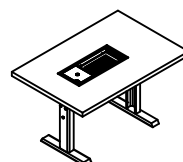
禁止



調理中のものが焦げたり燃えたりして火災の原因となります。

■ 火災予防

火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない。



禁止

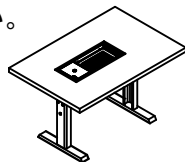
火災の原因となります。

■ 火災予防

機器の上や周囲には可燃性（ペットボトル、調理油、新聞紙など）や引火性（エアゾール缶など）のものを置かない。



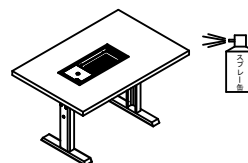
禁止



焦げたり燃えたりして爆発や火災の原因となります。

■ 火災予防

機器の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを使用しない。



禁止

引火して火災のおそれがあります。

■ ガス事故防止

使用中、排気筒や鉄板の上に起し金（コテ）や食器などを置いたり、かぶさらないようにする。



禁止

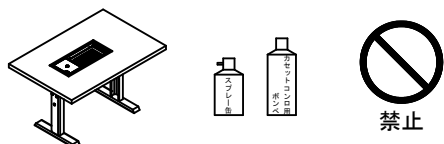
テーブルが焦げたり、食器の破損、やけどの危険があります。

■特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 警告

■ 火災予防

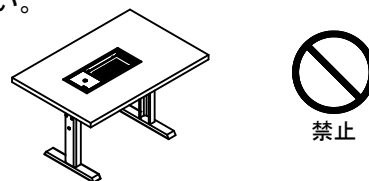
機器の上や周囲にスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かない。



熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

■ 使用上の注意

補助具は機器に付属または指定のもの以外は使用しない。



一酸化炭素中毒や異常過熱のおそれがあります。

■ 異常時の処置

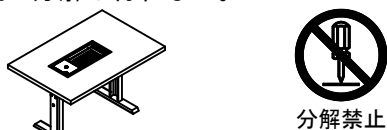
使用中に異常な燃焼・臭気・異常音を感じた場合や、地震・火災など緊急の場合は、ただちに使用を中止し、器具栓つまみを閉じてガス栓を閉じる。

故障・異常の見分け方と処置方法（11ページ）に従ってください。
上記の処置をしてもなおらない場合は使用を中止しお買い上げの販売店に連絡してください。



■ 改造・分解禁止

絶対に改造・分解は行わない。



改造・分解は不完全燃焼による一酸化炭素中毒となるおそれがあります。
また火災の原因となります。

■ 点火・消火の確認

点火・消火の際は必ず炎を確かめる。

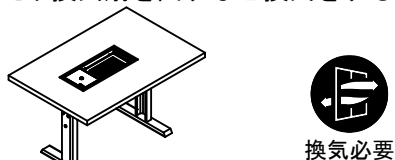


使用時は点火したことを確認してください。
使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。
使用後は器具栓つまみが「閉」の位置で消火していることを確認し、ガス栓を閉じてください。

⚠ 注意

■ 換気に注意

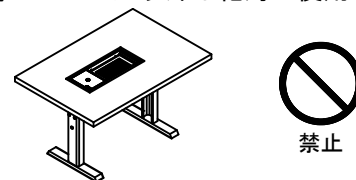
窓を開けたり換気扇を回すなど換気をする。



不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

■ 使用上の注意

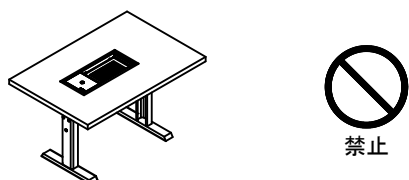
機器に付属のロストル以外は絶対に使用しない。



不完全燃焼や過熱による機器の焼損や火災などの危険があります。

■ 使用上の注意

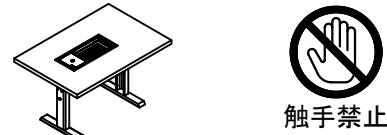
衣類の乾燥などに使用しない。



衣類が落下して火災の原因となります。

■ 使用上の注意

使用中や使用直後は、高温部に触れない。



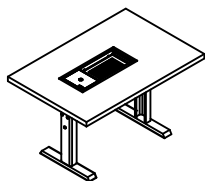
機器本体とその周辺および調理器具が熱くなります。特に小さい子供がいる場合はやけどにご注意ください。

■特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 注意

■ 使用上の注意

調理専用機器ですので調理以外の用途には使用しない。

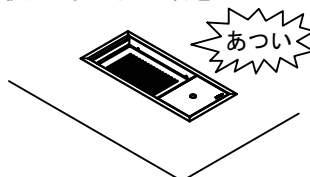


禁止

過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原因となります。

■ 使用上の注意

使用時は手や顔を近づけない。

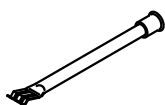


禁止

使用中、機器は高温になっていますのでやけどの原因となります。

■ 使用上の注意

ロストルの取り扱いには別売の専用持ち上げ金具を使う。



必ず行う

ぬれふきなどで持つと、やけどやけがなど思わぬ事故の原因になります。

■ 使用上の注意

機器を覆ってしまうような鉄板・陶板などは絶対に使用しない。

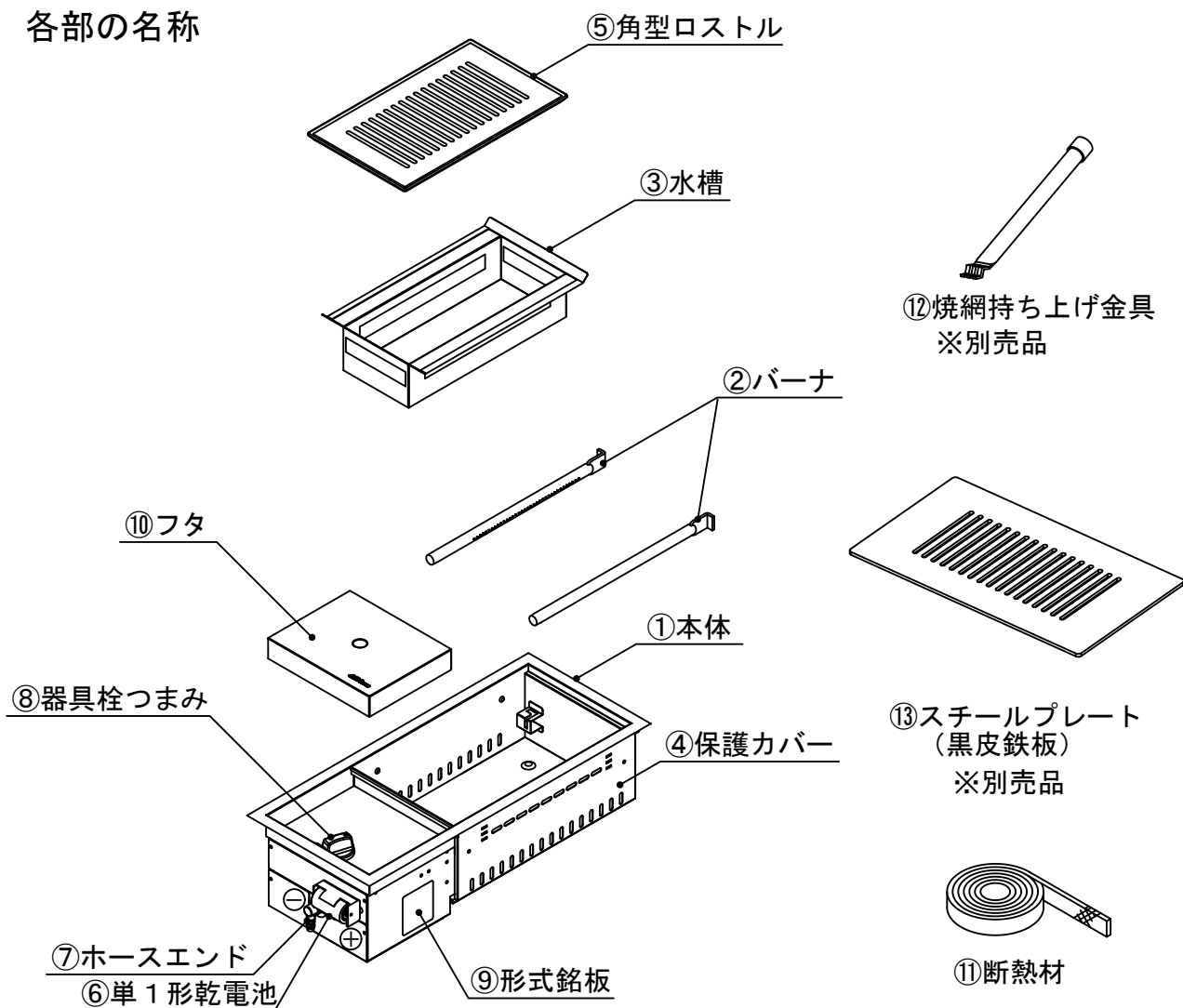


禁止

一酸化炭素中毒や異常過熱による機器損傷や火災のおそれがあります。

■ 各部の名称と仕様

■ 各部の名称



■ 各部の名称と仕様

■ 付属品 (⑫⑬は別売品です。)

No.	部 品 名 称	数	は た ら き
①	本 体	1	バーナ・水槽・角型ロストルを受けている部品
②	バ ナ	2	ガスと空気を混合して安定した炎を出す部品 (炎口が内側に向くようにセットしてください(4ページ参照))
③	水 槽	1	水を入れて油や肉汁を受ける部品
④	保 護 カ バ ー	1	足が高温部に触れないように保護する部品
⑤	角 型 ロ ス ト ル	1	調理用部品(平らな面が調理面です)
⑥	単 1 形 乾 電 池	1	バーナに点火する際の電源
⑦	ホ ー ス エ ン ド	1	ガス取り入れ口
⑧	器 具 栓 つ ま み	1	点火、消火、火力調節用のつまみ
⑨	形 式 銘 板	1	製品番号、ガス種、消費量などを表示している部品
⑩	フ タ		操作部のフタ
⑪	断 熱 材	1	テーブルへ伝わる機器の熱を遮断する部品
⑫	焼 網 持 ち 上 げ 金 具	1	角型ロストル持ち上げ用の専用金具【別売品】
⑬	ス チ ール プ レ ー ト	1	(ロストル) 調理用部品(黒皮鉄板)【別売品】

■ 消耗品: バーナ、角型ロストル、スチールプレート(別売品)、単1形乾電池

■ 仕様表

記 載 事 項	記 載 内 容
製 品 名	ガスクッキングテーブル焼物器 角型ロストルタイプ(上操作)
形 式 名	C T R - 7 1 0
点 火 方 式	連続スパーク点火方式(単1形乾電池)
空 気 調 節 器	固定式
寸 法	W 5 8 1.5 × D 2 4 6 × H 1 5 5 (mm)
質 量	9.0 k g
ガ ス 接 続 口	φ 9.5 mmゴム管用自在ホースエンド

使用ガス 使用ガスグループ		ガ ス 消 費 量
都市 ガス	1 3 A	2.33 kW (2000 kcal/h)
	1 2 A	2.21 kW (1900 kcal/h)
L P ガス		2.37 kW (0.17 kg/h)

■ 設置について

■ 設置前の準備

- ・ 機器をダンボールから取り出して梱包物をすべて取り除き、付属品を確認してください。
- 付属品

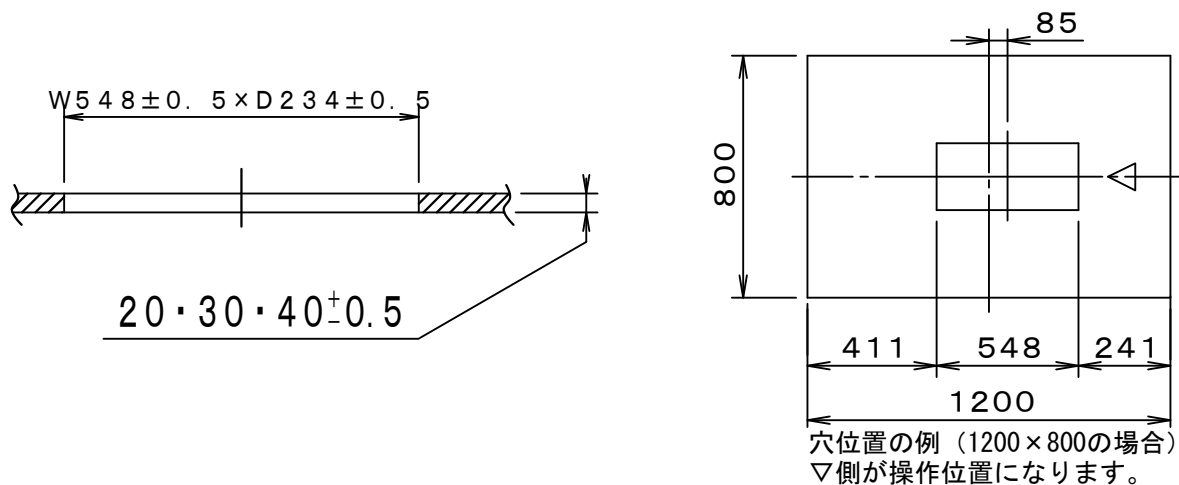
①取扱説明書(1冊) 	②+トラスネジ 4×16(4個) 	③単1形乾電池 (1個) 	④断熱材(1個) 	⑤ベース取付金具 (4個) 
---	--	--	---	---

※断熱材を固定する為の部品は付属していません。タッカなどの手配をお客様の方でお願いいたします。

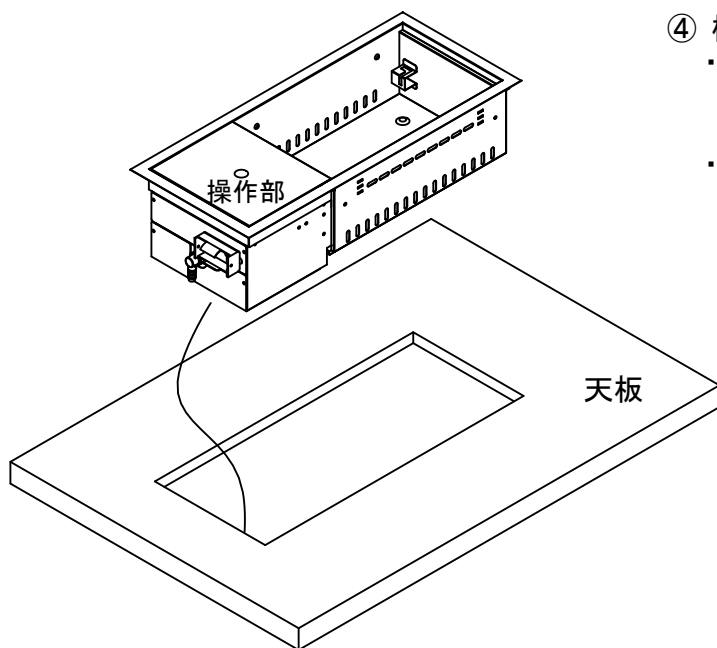
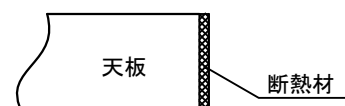
■設置について

■ 機器の取付方法

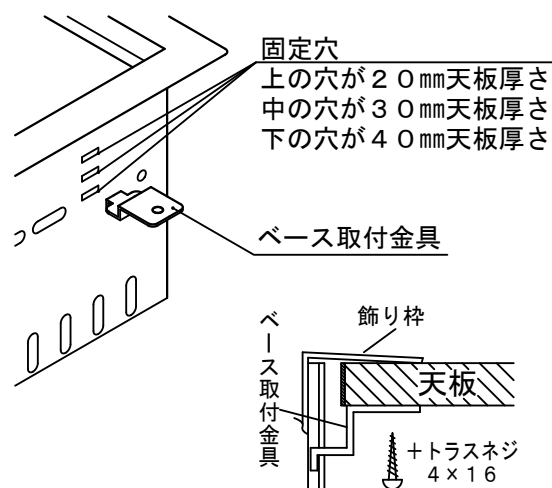
- ① 天板（厚み20・30・40mm）に下記寸法の穴をあけてください。
穴は天板中心でなく、85mm偏心させますのでご注意ください。



- ② 付属の断熱材をテーブルの穴の断面にタッカで取り付けてください。
※タッカは付属しておりませんので準備をお願いします。
※タッカの針の止めピッチは5cm程度を目安としてください。
またコーナ一部はたるまない様にしっかりと固定してください。
※断熱材を取り付けの際はゴム手袋を着用して肌が露出しない状態で作業を行ってください。肌が敏感な方はかゆみやチクチクした痛みが生じる場合があります。
※脚の上にテーブルを仮置きして作業すると容易に作業できます。
- ③ 機器をテーブルの穴に入れてください。
※機器本体から《角型ロストル・水槽・バーナ》を取り外してください。
※機器本体裏面の上部の隙間を一定にするための突起がありますので、断熱材に引っ掛けないように注意してください。
・機器を持ち上げて斜めにし、操作部側から③のテーブルの穴に入れてください。
・機器全体がテーブルと平行になるように機器本体を穴の中にゆっくりと落とし込んでください。
飾り枠がテーブル表面に接したら手を離してください。



- ④ 機器をテーブルに固定してください。
・機器本体が指定の位置になる様に巻尺でテーブルの端から機器までの距離を測定し位置調整してください。
・天板裏面より付属の《ベース取付金具》を機器本体の固定穴にセットし《+トラスネジ4×16》で固定してください。（4カ所あります）



■ 設置について

- ⑤脚を固定してください。
 - ・脚がテーブルの中心に来る様に巻尺でテーブルの端から距離を測定し位置調整して、脚に付属の木ネジで固定してください。
- ⑥裏返して作業している場合は、天板・脚ごと機器全体をひっくり返してください。
- ⑦取り外した《バーナ・水槽・角型ロストル》を元通りセットしてください。（4ページ参照）
- ⑧電池ケースに単1形乾電池を⊕と⊖正しい向きに取り付けてください。
（乾電池に記載の注意事項をよく読み、正しくご使用ください。）
（付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。）
- ⑨以上で機器の取り付け作業は完了です。

■ 設置場所

- ・ 棚の下など落下物のある所を避けてください。火災になることがあります。
- ・ 樹脂製の照明器具の下でのご使用は避けてください。照明器具のかさ等が変形することがあります。
- ・ エアコンの風が直接機器に当たらないようにしてください。
- ・ ゴム管の接続時にゴム管止めを必ず付けてください。
- ・ ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短く、また機器の下を通したり機器に触れたりしないでください。

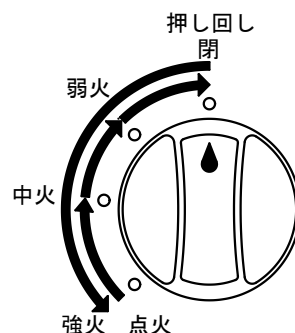
■ ご使用方法

■ ご使用前の準備

- ・ 機器本体に貼り付けている銘板に表示しているガスの種類と、使用するガスが一致していることを確認してください。
- ・ ガス栓と機器のガス接続口をφ9.5mmガス用ゴム管で接続してください。
- ・ ガス用ゴム管はホースエンドの赤い線まで差し込み、ゴム管止めで固定されていることを確認してください。
- ・ 天板フタをしている場合は天板フタを取り外してください。
- ・ 装着部品がもれなく確実に装着されていることを確認してください。
- ・ 機器周辺に可燃物がないことを確認してください。
- ・ 水槽に約1000mLの水を必ず入れてください。
（目安：炎口が見えている長角穴下面より10mm下が1000mLです。）
- ※水槽に水を入れるときはバーナにかからないように入れてください。万一、バーナの炎口に水がかかった場合は、乾いた布などでよくふき取り点火してバーナが正常に着火していることを確認してください。
- ・ 器具栓つまみが「閉」の位置にあることを確かめてからガス栓を開いてください。

■ 操作の方法

- ① 点火は操作部のフタを持ち上げて、器具栓つまみを押しながら左（反時計方向）へいっぱいまで回すと「チッチッチ」と音がして点火を開始します。2本のバーナに着火したことを目視で確認してから手を離し、もう一度2本のバーナに着火していることを確認してください。
※はじめて点火するときは、ガス管内に空気が入って点火しにくいことがあります。この場合は、2・3回点火操作を繰り返し行い、空気を抜き、「閉」の位置に戻した後、しばらくしてから再度点火操作を行ってください。
（長時間使用しなかったり、朝一番に点火する時も点火しにくいことがあります。）
- ※点火の際や使用中に「ゴーゴー」という異常音がする場合は一旦器具栓つまみを「閉」の位置にして、しばらくしてから再度点火操作をしてください。
- ② 火力調節は3段階に調節できるようになっています。火力調節の際は器具栓つまみをゆっくり動かしてください。速く動かすと火が消える場合があります。
※火力調節は節度以外での使用はできませんのでご注意ください。
特に節度以下にすると火が消える場合がありますので危険ですのでご注意ください。
- ③ ご使用中もときどき正常に燃焼しているか目視で確認してください。
- ④ ご使用中も水量を確認し、調理中でも水量が少なくなっていれば消火し、角型ロストルを外して水を追加してください。
- ⑤ 消火は、器具栓つまみを右（時計方向）へ「カチッ」と音がするまでもどし、消火したことを目視で確認してください。
※消火したこと、器具栓つまみが押せる位置まで戻ったことを必ず確認してください。



■ ご使用方法

■ 停電時のご使用方法

ご使用中に万一停電した場合、器具栓つまみを「閉」の位置にし、ガス栓を閉じておいてください。停電復旧後は、通常の点火操作を行ってください。

■ 角型ロストルの使用前の準備方法

新品の角型ロストルには、サビ発生の防止策として、食品衛生法に適合した塗料が塗布してあります。使用するうちに取れていき、表面を強くこすると、塗料が粉状になって取れることがあります。異常ではありません。

※この塗料にはフッ素加工のような機能はございません。

《購入後初めてご利用になる前に》 ※この作業は最初の1回だけ行ってください。

▲角型ロストルは専用器具にセットしてください。専用器具以外でのご使用はお控えください。

▲角型ロストルは急加熱や急冷をしないでください。変形や割れの原因となります。

▲室内で行う場合は、換気扇、排気ファンなどを運転して換気してください。

①角型ロストルを空焼きします。

②空焼き後、角型ロストルに手をつけられるほどの温度まで冷めてから食器用洗剤と金属製たわしで（ア）しっかりとこすり洗いし、すすいでください。

（イ）注）水をかけたり浸したりなどの急冷はしないでください。割れや変形などの原因になります。

③洗い終わったら再度加熱します。水滴がなくなるまで加熱し、その後、油ならし（シーズニング）を行います。

※初めて加熱した時は、少しニオイや煙が発生する場合がありますが、これは表面の塗料から発生したもので徐々に無くなる現象です。

※加熱すると塗料が変色する場合がありますが異常ではありません。

※塗料は温度の高い所から取れて行きます。残っていても使用上の問題はありませんので、そのまま使用ください。

※水分を残したまま放置しないでください。サビの原因になります。

《油ならし（シーズニング）》

①角型ロストル全体に植物油を塗って中火で加熱します。

②煙が出始めたら火を止め角型ロストルを冷まします。

※角型ロストルは高温になっていますので、持ち上げ金具を使用しやけどに注意してください。

③再度、角型ロストル全体にキッチンペーパーなどで植物油を塗ります。溝や凹凸部もムラなく塗ってください。

④キャベツなどの野菜（適量）を炒めてください。鉄のニオイが気になる場合は、ショウガやネギなどの香りの強い野菜を炒めると鉄臭さがとれます。

⑤油が全体に馴染んだら、④で炒めた野菜を捨て、たわし（金属製以外）で水洗い（洗剤は不可）し、サッと中火で短時間空焼きして水分をとばし植物油を塗ります。

■ 角型ロストルの使用後のお手入れ方法

《日頃のお手入れ》 ※毎回の調理使用後行ってください。

①角型ロストルは冷めてから洗浄液につけ置きします。

※角型ロストルは高温になっていますので、プレート持ち上げ金具を使用しやけどに注意してください。※すぐに手洗いするよりもしばらくつけ置きして焦げ付きを柔らかくすることで汚れが落ちやすくなります。なお、業務用でお使いのお客様には当社商品の専用洗剤『鬼の洗濯』をご使用していただく

と、よりいっそう汚れが落ちやすくなります。使用後の液体は『中和剤』で処理し廃棄してください。（『鬼の洗濯』の洗浄液は繰り返しご使用いただけます。）

②一晩ほどつけ置きした後、残った洗剤や汚れを水できれいに洗い流します。洗浄機があれば洗浄機にかけた後、すすいでください。洗浄機は一般家庭用の洗浄機でもご使用いただけます。

③洗浄後、水気を取り、油ならし（シーズニング）を数回繰り返してください。

※ご使用後は常にこの作業を行うことで油がしみこみ、サビにくくなります。

※回転ドラム式洗浄機・プラスト式洗浄機をご使用されると割れる場合がありますのでご注意ください。詳しくは洗浄機メーカーにお問合せください。

※『鬼の洗濯』の洗浄液は効力が無くなったら新しくしてください。廃液は『中和剤』で処理し廃棄してください。

※長時間の空焼きや専用器具以外での加熱は角型ロストルの変形や割れの原因となりますのでお控えください。

※熱した角型ロストルに水をかけるなどの急激な温度変化を与えると変形や割れの原因となりますのでお控えください。

《保管方法》

・日頃のお手入れを行い、新聞紙などで包み湿気の少ない冷暗所に保管します。

再度ご使用の際は表面の付着物や植物油を水洗いしてからご使用ください。

《サビについて》

鉄製鋳物の製品は非常にサビやすい性質があります。

長期間使用しなかった場合、水分の付着や保管環境によりお手入れをしてもサビが発生する場合があります。

①サビが発生した場合はスポンジまたは金たわしに磨き粉をつけて、サビが出ている箇所をよくこすり、洗い落としてください。

②すすぎ後、水分を拭き取ってすぐに中火で短時間空焼きして水分をとばしてから植物油を塗って保管してください。さらに油ならし（シーズニング）をするとより効果的です。

■ 日常の点検・お手入れ

日常の点検およびお手入れを行われる場合、次の事項を必ずお守り頂いた上、以下の各項に記載されたとおりに行ってください。
機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行ってください。

■ 点検・お手入れの際のご注意

- ・ 日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- ・ 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。
- ・ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談ください。
- ・ 点検・お手入れの際には必ずガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意してください。
- ・ 機器内部をお手入れする場合は手袋を着用して行ってください。各部品の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意してください。

■ 点 検



警告

- 点検前に必ずガス栓が閉じられていて、機器が冷えているかを確認してください。やけどのおそれがあります。
- ガス管（ゴム管、ゴム管止めなど）の劣化や接続は必ず点検してください。ガス漏れの原因になります。
- 機器の周辺に可燃物や危険物が無いことを確認してください。

- ・ ゴム管接続の場合、ゴム管が、器具及びガス栓の両方共、赤い線まで十分に差し込まれていてゴム管止めが取り付けられているかを点検してください。
- ・ ゴム管が古くなってひび割れしたり差し込み口がゆるんで、ガス漏れしていないかときどき石けん水などをかけて点検してください。
- ・ 機器の周辺に、紙・プラスチック・スプレー缶・油類などの可燃物を置いていないか点検してください。
- ・ 各部品とも正しくセットされていることを確かめてください。
- ・ バーナおよびその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめてください。
- ・ 機器周辺に可燃物・障害物などが無い確認してください。

■ お手入れの道具と洗剤

使ってよいもの

- | | |
|-----------|---|
| 本体表面など | : ●中性洗剤 ●やわらかい布 ●スポンジたわし ●ナイロンたわし
●シュロブラシ等やわらかいブラシ |
| こびりついた汚れ用 | : ●スクレーパー |
| バーナ清掃用 | : ●真ちゅうブラシ ●針金 |

使ってはいけないもの

- | | |
|--|---|
| ●酸性・アルカリ性洗剤
ガス機器に使用している部品を腐食させ、故障やガス漏れの原因になります。 | ●スプレーボトル式洗剤
機器内部に洗剤が入りますと部品を腐食させ故障の原因となります。直接かけずに布などに含ませてからお手入れしてください。 |
| ●クレンザー（みがき粉）、金属たわし
部品や塗装の表面にキズがつき、サビなどの原因となります。 | ●ベンジン・シンナー・アルコール
部品や塗装の表面が変質し、変色・塗装はがれ、サビなどの原因となります。 |

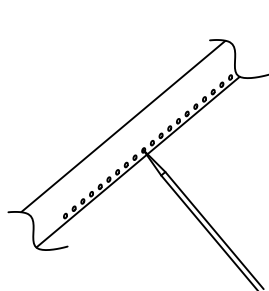
■ 日常の点検・お手入れ

■ 日常のお手入れ

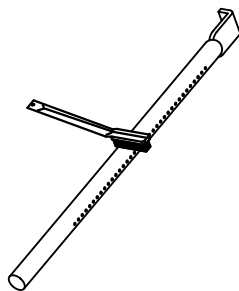
 警告	● 酸性・アルカリ性の洗剤を、本体にかけないでください。ガス通路部品が腐食し、ガス漏れをおこし、危険です。 ● 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いはしないでください。着火不良や不完全燃焼の原因となります。
・ 市販の業務用洗剤には、ガス機器に使用している部品を腐食させる成分が含まれている場合があります。洗剤の注意書などで成分を確認してください。 ・ 本体に、強力な洗剤の原液などを直接吹きつけたり、本体を丸洗いされますと、器具栓やガス導管などのガス通路の機能部品が腐食・破損しガス漏れなどにいたるおそれがあります。 ・ 機能部品を清掃・お手入れされる場合は、布切れに中性洗剤を含ませて拭き取り、仕上げにぬれふきんで拭き取ってください。 ・ 水槽は本体より取り外してシンクなどで洗浄して、乾いた布などで拭いてください。	

■ 定期的なお手入れ

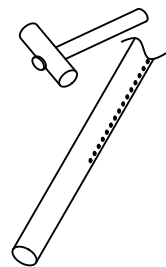
- ・ バーナおよびその周辺の汚れは、不完全燃焼の原因になるので汚れたら掃除してください。
- ・ バーナの炎が不揃いになったときや汚れがひどい時は、バーナを真鍮ブラシで掃除し、炎口は針金などで穴を掃除してください。バーナ内部のゴミは差込み部を下に向け、木づち等でバーナを軽くたたいてゴミを落としてください。清掃後、乾いた布などで拭いてください。



炎口は針金などで掃除してください



表面は金ブラシなどで掃除してください



バーナ内部のゴミは、差込み部を下に向けて木づち等でバーナを軽く叩いてください

- ・ 角型ロストルはお客様ごとに掃除してください。
- ・ 機器内部は、油や炭化物が付着すると取れにくくなりますので手袋を着用し布きれなどで掃除してください。
- ・ 機器内部は、油や炭化物が付着すると取れにくくなりますので、手袋を着用して一日に一度布切れ等で清掃してください。
- ・ 本体は、炭化物が付着すると取れにくくなりますので、一日に一度、手袋を着用して中性洗剤を含ませたぬれふきんで拭き取り、清掃してください。後は乾いた布で十分に水気をとってください。

※お手入れ後は4ページを参照の上、正しくバーナや角型ロストルを取り付けてください。
正しく取り付けできていない場合、着火しない、または機器損焼になるおそれがあります。

■ 故障・異常の見分け方と処置方法

原 因	現 象	処 置 方 法											
		ガス の臭い がする	点 火 し な い ・ ガ ス も 出 な い	点 火 し な い ・ ガ ス は 出 る	着 火 ・ 火 移 り し に く い	炎 が 黄 火 で 燃 え る	炎 が 飛 ぶ よ う に 燃 え る	異 常 な 音 を た て て 燃 え る	バ ッ ク フ ア イ ヤ ー	炎 が 異 常 に 小 さ い	炎 が 異 常 に 大 き い	使 用 中 に 炎 が 消 え る	使 用 中 に 炎 が 吹 き 上 が っ た
ガスゴム管接続が不完全 ガスの接続が不完全	○												ガスゴム管の接続を確実にする ガスの接続を確実にする
ガス栓の開きが不十分		○	○	○									ガス栓を全開にする
ＬＰガスがなくなりかけている		○	○	○	○				○		○	○	新しいボンベと交換する
配管中に空気が残っている		○	○	○		○	○	○	○		○		点火操作を繰り返す
銘板表示のガスと使用ガスの不 一致			○	○	○	○		○	○	○	○	○	ただちに使用をやめ、販売店に連 絡し使用ガスに合った機器と交換
点火操作が適切でない		○		○									正しい点火操作を行う
器具栓つまみの開き不足		○		○					○			○	器具栓つまみを一度「閉」に 戻してから再び点火操作を行う
バーナの炎口が詰まっている		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	バーナの炎口を清掃する
バーナの取り付けが悪い		○	○	○	○	○	○			○	○		バーナを正しく取り付ける
バーナが劣化している			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	販売店に連絡し、修理する
電池が切れている			○										新しい電池と交換する
水槽に水が無く、空だきに なっている												○	使用前には必ず水を入れる。使用 中もときどき確認して水を入れる

■ 長期間使用しない場合

- 長期間ご使用されない場合は各部を掃除し、ガス栓を閉じて保管してください。

■ 廃棄するときは

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理を行ってください。

■ アフターサービスについて

■ サービス（点検・修理など）を依頼される前に

- ・ サービスを依頼する前に11ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないで買い上げの販売店にご連絡ください。
- ・ アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 - ① 製品名・製品番号（銘板に表示のもの）・ガスの種類
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象（できるだけ詳しく）
 - ④ 製品購入日・訪問希望日

■ 転居または機器を移設される場合

- ・ ガスの種類が異なる地域へ転居または移設される場合には、部品交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、必ず買い上げの販売店またはもよりのガス事業者にご相談ください。
- ・ この場合、保証期間内でも、調整・改造に要する費用は有料となります。
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合があります。

■ 保証について

- ・ 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、お買い上げ日より「1ヶ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 誤った使い方をされたときの故障 | ② 移動によって生じた損傷・故障 |
| ③ 改造された場合の故障 | ④ 天災による損傷・故障 |

※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■ 消耗品

- ・ 消耗品は、保証期間中でも有償となります。
※消耗部品：バーナ・角型ロストル・スチールプレート（別売品）・単1形乾電池

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- ・ このガス焼物器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

■ 連絡先

- ・ ガス焼物器をお使いになった上で、なにか不明な点や不具合な点がございましたら、お買い求めになった販売店か当社へ連絡してください。

■ お客様の個人情報の取り扱いについて

- ・ 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ・ 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または、権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

YAMAOKA

山岡金属工業株式会社

ISO14001/ISO9001認証取得

本 社／〒570-8585 大阪府守口市東郷通2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045
東京支店／〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722

URL <https://www.silkroom.co.jp> / E-mail info@silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。